



看護部ブログ  
号外

# 第24回 看護研究発表会

こんにちは。聖隷ふじ太郎です。  
12月に看護研究発表会を開催しました。これは「自己の看護を探求し看護実践に活かす」ことを目的に毎年行っています。2001年から始めて休むことなく継続し、今年度第24回を迎えました。これまでに計143名の研修生が研究に取り組んできました。今年はどんな様子だったのか、研修生の声を聞いてみましょう。恵愛だよりも掲載しますので、あわせてご覧ください。

Aさん

全体の意見を吸い上げることに難しさを感じました。主観的になってしまい、客観的にみることの大切さを学びました。今後は、IAレポートやマニュアルを確認し同様の事象を防止する、根拠を持って業務に携わることを意識することで、安全・安心な入院生活が送れるよう関わってまいります。

Bさん

研究内容をはじめて聞く人にも伝わるようにまとめることや、制限時間内に発表することが難しかったですが、アドバイスをもらいながら何とかまとめることができました。これからも、透析患者の災害の備えについて継続して関わっていきたいと考えています。

Bさん

業務と研究の両立がうまくいかず、計画的に進めることに苦労しました。大変でしたが、参考文献を検索しエビデンスに基づいたアセスメントする重要性を学ぶことができました。今後は、説明方法の統一ができるよう話し合いをし、患者さんやご家族の希望や生き方を最大限尊重する関わりを目指してまいります。



Merry Christmas